

平成 27 年度ぎふ清流未来の会議 開催結果

森・川・海で環境学習に取り組む子どもたちが、世代や分野を越えて、日頃の活動成果を発表し合い、相互の取り組みに対する理解を深めるとともに、森・川・海のつながりを踏まえた交流の促進を図ることを目的とした「ぎふ清流未来の会議」を平成 27 年 12 月 5 日（土）に世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふで開催しました。

当日は、小・中・高等学校の児童・生徒約 80 人が参加し、成果発表や交流プログラムを行いました。

環境学習交流会

日頃の環境学習・環境保全活動について、県内外の小中高等学校（5 校・約 80 名）が発表しました。

県内の小中高等学校が森・里・川・海での活動について、また、三重県松坂市から参加の私立三重中学校・高等学校（科学技術部）が海での活動について、小グループに分かれてお互いに発表し合う発表交流を行いました。

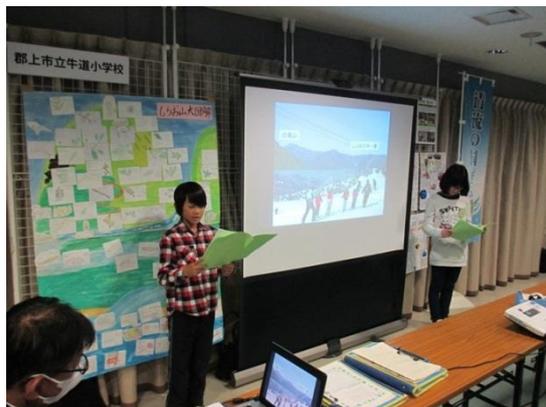
発表交流後には、アクア・トトぎふの河合学芸員から講評をいただきました。

参加校・団体の発表テーマ

森・海

郡上市立牛道小学校 5 年生

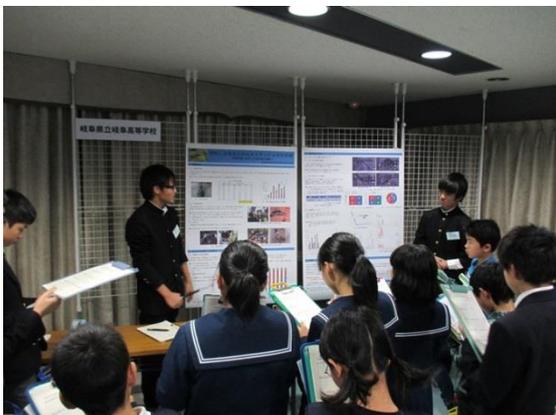
テーマ：“山の自然を守り育てる活動の推進”



里

岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部

テーマ：“守れ！ふるさとのカスミサンショウウオ”



川

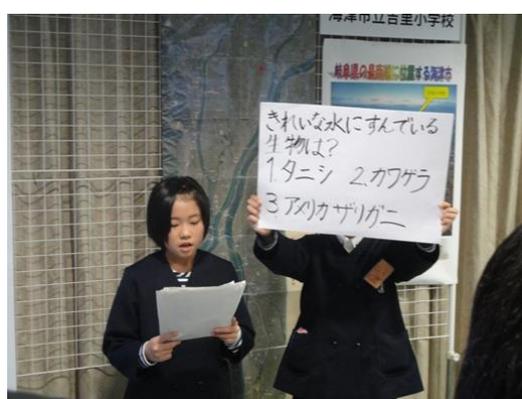
岐阜市立長森南中学校 1年生

テーマ：“川的环境学習～身近な水と生き物から考える環境”



海津市立吉里小学校 6年生

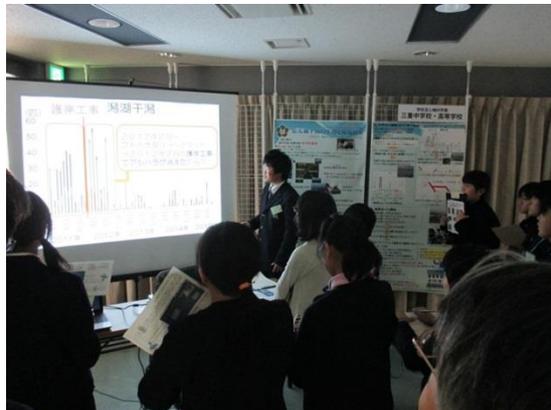
テーマ：“環境と命”



海

(学) 梅村学園 三重中学校・高等学校 科学技術部

テーマ：“松名瀬干潟の生物及び環境教育”



講評



講評



昼食

山や里の幸として岐阜県関市やその周辺地域の食材、海の幸として三重県の食材を使ったお弁当をいただきました。



いきものつながるプログラム

水族館を見学しながら、グループのみんなで協力し「ある条件」に当てはまる生き物を見つけ出し、その生き物を発表しつつ交流をする交流プログラムを行いました。

